

参加 研究者 募集

京都大学アカデミックデイ2015

—みんなで対話する京都大学の日—

2015年10月4日(日) 9:00—17:00 京都大学百周年時計台記念館

研究について、いろんな人と語り合いませんか？

今年も「京都大学アカデミックデイ」が、京都大学「国民との科学・技術対話」支援事業の一環として開催されます。アカデミックデイは研究者自らが研究について市民(専門外の人)と語り合うコミュニケーションの「場」です。ご自身の研究と社会の接点を感じたい方、これまでとは違う角度から研究テーマをみつめてみたい方、より多くの人に自分の研究のことを知ってもらいたい方、専門外の人との「コミュニケーション力」を高めたい方など、あなたの参加をお待ちしています。また、あなたの周りの研究者の方にもご参加のお声掛けをお願いします！

- 公的資金の多くは、この事業への参加準備に直接経費を充てることができます。
- 一部の大型公的研究費は「国民との科学技術対話」への参加が義務付けられています。
- 本イベントへの参加は、研究費の実績報告書に記載することができます。
- 学内の多様な研究者が1度に集まる他にないイベントです。他の研究者との交流にもご利用ください(当日最後に参加研究者の懇親会もあります)。

以下の2企画に参加される京都大学の研究者を募集します。文系・理系などを問わず、奮ってご参加ください。

参加者募集企画

① 研究者と立ち話(ポスター／展示) 約50件を募集

—研究者ってどんな人？研究ってどんなこと？—

研究紹介ポスターや研究対象・研究ツール・研究資料(写真、映像など)、著書・著作など、対話の糸口になるような展示物を用いて、ご自身の研究を直接来場者に伝える企画です。(展示時間は10:00—17:00、ひとつの出展ブースに複数人での参加、説明者の途中交替等可能です)

② ちゃぶ台囲んで膝詰め対話 約10件を募集

—あんなこと、こんなこと、話しましょう—

ご自身の研究にまつわる話題(テーマ)を起点として、来場者と等しい目線で語り合う企画です。ちゃぶ台を囲んで、複数の来場者と対話の花を咲かせてください。(1テーマ90分を予定)

参加研究者には「URA」から以下の支援を行っています

- 専門外の人に研究を紹介する方法やコンテンツ作成(ポスター等)のレクチャー・アドバイスをします。
- アカデミックデイでの出展・参加内容を本学の公式サイト(K.U.Research)に掲載します。
- 出展の際に作成したポスターを本学のリポジトリ(KURENAI)に登録します。活動業績として恒久的に残せます。
- アカデミックデイ当日、会場近くの出展者専用託児所をご利用いただけます。

申し込み方法

学術研究支援室のHPよりお申し込みください。

<http://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/39>

* 申込みが多数の場合は原則先着順で採択しますが、全体のバランスを考慮して多様な分野の研究者にご発表いただけるよう、選定や抽選を行うことがあります。

参加申込締切日：2015年8月5日(水)

これまでの 参加研究者の声

「採択されている大型研究費でアウトリーチ活動を義務付けられているが、どうしていいのかわからなかった。報告書に書ける項目ができただけでなく、異分野の人や一般の人たちの前で話す機会を経験したことで、すごく刺激になりました。」

「本質的で鋭い質問が多く、今後の研究活動の際にも念頭においておきたいと感じた。」

「自分たち研究者が励まされたり、自分の研究の意義や社会における位置づけを再認識することが大きな利益になったと感じるほど、大変よい機会になりました。」

「高校生の発表と研究者の扱いが対等で、発表場所が混ざっていたのが良かった。高校生の発表の独創性や質の高さに感心した。」

「文系理系を問わず幅広い研究者が生き生きと展示をしている様子を見て、自分の研究の原典を見直す機会になるとともに、改めて頑張ろうという気になれた。」

その他の企画

異なる分野の研究者同士のトークライブ、著名研究者の人生に影響を与えた本や愛読書を展示する「研究者の本棚」、映像を中心に据えた実演トーク、関西を中心とした高校生の参加(研究展示)などの企画も予定しています。



会場の様子(研究者と立ち話)
ポスターを貼るパネルを使って、多様なスタイルの対話を試すことができます。



研究者と立ち話/「ナノサイズの材料の強さを知ろう!!」
ポスター以外にも写真や展示物等を使った対話が可能です。



研究者と立ち話/「トマトって、なに？」
ポスターの前にも机がありますので、説明に使うような小物もおけます。実際に触れることができるものは、来場者の興味を惹いていました。



ちゃぶ台囲んで勝詰め対話/「言葉から考える世界」
ノートPCやiPad、紙、実物など、互いに覗き込めるものを囲む方が話しやすいようでした。出入りは自由になっています。

アカデミック日のWEBサイトにて、昨年度の出展ポスターや報告書をご覧いただけます。参加のご検討の際にぜひご覧下さい。(http://research.kyoto-u.ac.jp/academic-day/2014/)

お問い合わせ：

「国民との科学・技術対話」担当

E-mail kenkyu-taiwa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

TEL 内線 16-2579 (京都大学研究推進部 研究推進課)



Dialog with the Public